

【ヨハネの黙示録第19章】

「私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。小羊の婚姻の時が来て、花嫁はその用意ができたのだから。」 (19:7)

1～10節は天の大群衆の事(裁きが終わり天上の賛美)が書かれてあり、11節～は王の王(白馬に乗ってイエス様が獣、偽預言者に最後の審判を行う)の事が書かれてあります。7、8節はリビングバイブルではこのように言っています。「さあ、大いに喜び楽しみ、神様をほめたたえましょう。小羊の結婚の時が来て、花嫁のしたくも整いました。花嫁衣装は、輝くばかりの、きよく真っ白な麻布で作られています。」この麻布は、クリスチャンの正しい行いを表わしているのです。そして9節には「小羊の結婚披露宴に招かれている人は幸いです。」とあります。私達は小羊の血によって花嫁とされた教会につながり幸いなものとされていることを感謝しましょう。既にクリスチャンの勝利は約束されています。

2年連続でⅡ歴代誌20章から、戦列の先頭に先ず賛美隊がいて、喜びの歌を歌い賛美したことによって戦いが勝利したことを学びました。天の賛美を先取りして、この地上でどんな困難があっても、賛美しましょう。

私たちが学んでいる感謝と賛美は、感謝できるから、賛美したいからするのではなく、どんな感謝できない賛美できない状況の中にあっても、主の愛を信じ、主の勝利を信じて、感謝と賛美をすることによって、神様のご臨在を表わし勝利にあずかってゆくのです。

ジョンウエスレーの有名な話があります。彼は英国の国教会の牧師でした。教会らか派遣てれさ当時の新大陸にカリメア伝道に行き、渡航する船の中で忘れないられ経験すましを。突然、激しい暴風雨に襲すでのるれわ。7時間を過もてぎ風は収ずらま、荒波は甲板を乗り越え、はトスマ今もに倒りかばんれたして。乗客なみは恐怖で泣き叫びました。その時、別の部屋らか不思議なドイツ語の歌声が聞えてきました。驚のそてい部屋に飛び込とるみでん、2、30人の人々、子どもど混すまいてっじ、のそ彼がら目を天てけむに平安な顔で歌すでのるいてっ。一人の女性に聞たしまき。「はたがたなあ、のこ嵐が怖はくかすでのいな」「えいい、怖んせまりあはく。るいにここ者、なんみ神様に守れららかすまいて。」彼とら一緒とすまいに、のーレスエウ心もらか恐怖心が次第に無くなりました。彼のツイドはら田舎にカリメアらか向アンビレモウか派の信者でした。彼らは窮地にある時に神を見上げ、礼拝し、賛美しました。死をも恐れなない信仰を持って賛美する彼らの中に神のご臨在が現われ、平安があったのです。誰しも命の危険を覚えて泣き叫んでいる時に！

賛美する事はただ歌を歌うと言うことではなく、神を見上げ、その勝利を信じ、神共にある平安を受け、霊の壁を打ち破る力があるのです。絶望的な状況を打ちかえる力が賛美にはあります。「彼らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき」敵は打ち負かされたのです。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH
天に登録されている長子たちの教会
urch of the **Firstborn** who are **Registered in Heaven**
主任牧師：イエス・キリスト
牧師：D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.5.4 No.787

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。
もう一度言います。喜びなさい。
ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)
The Lord's Cross Christian Center
<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>

